



新種トリカジカエラモグリ発見

鳥羽水族館学芸員の森滝丈也さんが搬入された生物を調査する際、深海魚・トリカジカのエラにウオノエのような生きものを発見しました。森滝さんは「今まで見てきたウオノエと形が違う」という違和感から、さまざまなかたの協力を得て研究が進められ、新種であることが正式に決定付けられました。

現在、トリカジカエラモグリと命名された新種生物の標本は水族館内「へんな生きもの研究所」で公開中です。



世界一！目指すは東京オリンピック

11月24日から26日、アゼルバイジャン・バクーで開催されたレスリングの国際大会・ゴールデングランプリ決勝大会女子53kg級で、鳥羽出身の角谷萌々果さんが優勝しました。

角谷さんは4歳からレスリングを始め、現在は愛知県大府市にある至学館大学で練習に励んでいます。今後について「まずは全日本で勝ち、世界選手権で優勝し、将来は東京オリンピックに出場して金メダルをとりたい」と抱負を語ってくれました。



鳥羽のお正月を彩る凧

県立鳥羽高校で1月3日、新春凧あげ大会が開催され、約300人が参加しました。会場は伊勢海老汁やぜんざいのふるまい、お菓子の詰め合わせなどが当たる子ども抽選会で盛り上がりしました。

参加していた大阪の中学生は「鳥羽のおじいちゃんに教えてもらった」と慣れた手つきで空高く凧を揚げていました。また、手作りの凧や、色とりどりの連凧など大小さまざまな凧が新春の大空に舞いました。



国崎の海女ら、大漁と安全を祈願して

国崎町で1月17日、「のっと正月」が行われ、浜に集まった海女らは石の上にお供えをして大漁を祈願しました。その後、わらで舟が作られ、火が放たれた舟は海へ送られました。

海女の河村いく子さんは「嫁に来てから祖母が舟を作る様子を見て作り方を覚えた」と振り返り、「今は60代が若手、70代が指導」と高齢化を懸念しながらも笑顔で語り、伝統を守ってきた国崎の女性の強さが感じられました。